

1. ごあいさつ 《2020 年安全報告書の発刊にあたって》

平素は当社の鉄道事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

2020 年 1 月下旬より新型コロナウイルスが猛威を振るい、我が国をはじめ全世界の社会経済活動に甚大な影響を及ぼしており、未だ終息の見通しが立たない状況にあります。当社は、公共交通機関としてお客様に安全・安心してご利用いただけるよう、「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づく感染拡大防止策を講じながら、事業活動を継続してきております。感染拡大防止策に対するお客様の多大なご理解・ご協力に感謝を申し上げますとともに、終息に至るまでの間、引き続きのご協力等をよろしく願います。

さて、当社は 2020 年 2 月に開業 50 周年を迎えました。駅や車両などの主要な鉄道施設については、老朽化が進んでいることから、それら施設の修繕や更新投資の規模を拡大し、精力的に取り組んでおります。また、昨今の激甚化・頻発化する自然災害に対しては、ハード面の整備のみならずソフト面での必要な対策も講じてきております。

2019 年度における安全に対する具体的な取組みとしましては、ハード面においては、高架橋の耐震補強工事やサードレール耐震化工事等を実施しました。また、ホームページや旅客案内情報表示装置での多言語発信機能を一層充実させるとともに全駅に多言語ハンドスピーカーを配備しました。一方、ソフト面においては、相互直通運転を行う Osaka Metro との情報連携をより強化し、自然災害発生時におけるお客様への情報提供のタイミングなどを予め取り決めたタイムラインを作成しました。また、地震発生時における負傷者救助や避難誘導の訓練実施、警察・消防との連携を強化するための合同訓練を年 2 回開催するなど、異常時対応力の強化にも取り組んでまいりました。

なお、当社は、これまでのハード・ソフト面における多面的なバリアフリー整備が評価され、2020 年 1 月に国土交通省より「バリアフリー化推進功労者大臣表彰」を受けております。

当社では、1970年の開業以来、有責事故ゼロを継続しており、安全文化の浸透と定着を図る取組みを継続して実施してきております。そして、中期経営計画（2018～2021年度）においても輸送の安全確保を最重点テーマとして掲げ、全役員・社員が一丸となって安全管理体制のさらなる向上に努めてまいります。

この報告書は、2019年度における輸送の安全確保のための当社の取組み等を皆さまに広く知っていただくために作成いたしました。皆さまのご意見やご感想をいただければ幸いです。



代表取締役社長 内芝 伸一